



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年2月8日

上場会社名 株式会社JMS
コード番号 7702 URL <https://www.jms.cc/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 桂 龍司
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員コーポレート本部長 (氏名) 末田 穰
四半期報告書提出予定日 2024年2月13日
配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 082-243-5844

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	48,035	2.4	77	△83.6	263	△37.2	54	△58.9
2023年3月期第3四半期	46,918	7.2	471	△61.3	420	△65.9	131	△85.1

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 1,699百万円 (△4.8%) 2023年3月期第3四半期 1,784百万円 (11.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
2024年3月期第3四半期	円 銭 2.21	—
2023年3月期第3四半期	5.39	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2024年3月期第3四半期	百万円 80,255	百万円 40,014	% 49.6
2023年3月期	74,407	38,700	51.8

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 39,842百万円 2023年3月期 38,530百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年3月期	円 銭 —	8.50	円 銭 —	8.50	17.00
2024年3月期	—	8.50	—		
2024年3月期(予想)				8.50	17.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	64,500	1.2	100	△86.2	400	△31.8	100	△64.4	4.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社 (社名) ジェイ・エム・エス医療科技(張家港)有限公司
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期3Q	24,733,466 株	2023年3月期	24,733,466 株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	251,315 株	2023年3月期	284,366 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期3Q	24,466,823 株	2023年3月期3Q	24,441,424 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	8
(セグメント情報等)	8
(企業結合等関係)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、「かけがえない生命のために」の創業精神の下、「医療を必要とする人と支える人の架け橋となり、健康でより豊かな生活に貢献することですべての人々を笑顔にする」ことを目指して、経営の品質と企業価値の向上に努めております。

事業活動としましては、輸液・栄養領域、透析領域、外科治療領域、血液・細胞領域の4つの領域を中心に事業を展開し、製品の開発、生産、販売を進めております。

当第3四半期連結結果計期間は、日本国内においては、注力事業として取り組みを進める薬剤調製・投与クローズドシステムの販売が引き続き好調であったほか、ニードルレスアクセスポート付輸液セットの販売が堅調に推移した一方で、医療用手袋や栄養セットの販売が減少しました。海外においては、国・地域ごとに状況は異なるものの、医療需要の回復による市場の活性化を受け、主力の成分献血用回路や血液バッグが売上を伸ばしたほか、円安による円貨換算額の増加も加わり、売上を押し上げました。

以上の結果、売上高は、前年同四半期に比べ11億16百万円増加の480億35百万円（前年同四半期比2.4%増）となりました。

利益につきましては、増収効果はあるものの、原材料費や電力費等の高騰に加え、需要拡大に備えた労務費の増加や、研究開発費も増加したことにより、営業利益は77百万円（前年同四半期比83.6%減）となりました。また、持分法による投資利益や補助金収入の計上などにより、経常利益は2億63百万円（前年同四半期比37.2%減）となり、法人税等を加減した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は54百万円（前年同四半期比58.9%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(日本)

薬剤調製・投与クローズドシステムやニードルレスアクセスポート付輸液セット、中国向け血液透析装置の販売が堅調に推移したものの、医療用手袋や栄養セット、摂食嚥下関連用品の販売が減少したほか、欧州向けAVF針（血液透析用針）の販売が顧客の在庫調整で減少したことにより、売上高は320億9百万円（前年同四半期比2.8%減）となりました。また、セグメント利益については、補助金収入や子会社からの受取配当金が増加したことにより、2億28百万円の利益（前年同四半期比66.1%増）となりました。

(シンガポール)

停滞していた海外需要の回復を受けて、北米向け成分献血用回路や、アジア及びアフリカ向けの血液バッグの販売が増加したことに加え、円安による円貨換算額の増加もあり、売上高は176億43百万円（前年同四半期比5.0%増）となりました。また、セグメント損益については、増収効果はあるものの、原材料費や電力費等の高騰に加え、需要拡大に備えた労務費の増加もあり、1億5百万円の損失（前年同四半期は2億22百万円の利益）となりました。

(中国)

市場成長による需要の拡大傾向は変わらないものの、新型コロナウイルス感染拡大を要因とする需要停滞と顧客の在庫調整等によりAVF針や急性血液浄化回路の販売が減少したことから、売上高は27億71百万円（前年同四半期比6.2%減）となりました。また、セグメント損益については、減収影響に加え、労務費等が増加したことから、51百万円の損失（前年同四半期は94百万円の利益）となりました。

(フィリピン)

成分献血用回路やアジア向け血液バッグの販売が増加したことにより、売上高は29億3百万円（前年同四半期比6.8%増）となりました。また、セグメント損益については、増収効果はあるものの、原材料費や電力費の高騰に加え、生産活動の拡大に伴う労務費や消耗品費の増加もあり、1億54百万円の損失（前年同四半期は32百万円の利益）となりました。

(ドイツ)

欧州向け血液バッグの販売が好調に推移し、売上高は29億76百万円（前年同四半期比5.6%増）となりました。また、セグメント利益については、増収効果に加え、高止まりしていた海上運賃の減少もあり、3億57百万円（前年同四半期比162.0%増）となりました。

(その他)

北米向けのAVF針や翼状針の販売が減少したことなどにより、売上高は29億27百万円（前年同四半期比27.0%減）となり、セグメント損益については2百万円の損失（前年同四半期は42百万円の利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ58億47百万円増加の802億55百万円となりました。資産、負債及び純資産の内容は次のとおりであります。

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ36億49百万円増加の459億12百万円となりました。この主な要因は、現金及び預金が増加したためであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ21億98百万円増加の343億42百万円となりました。この主な要因は、有形固定資産が増加したためであります。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ20億40百万円増加の244億77百万円となりました。この主な要因は、1年内返済予定の長期借入金が増加したためであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ24億93百万円増加の157億63百万円となりました。この主な要因は、長期借入金が増加したためであります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ13億14百万円増加の400億14百万円となりました。この主な要因は、為替換算調整勘定の変動によるものであります。

なお、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ2.2ポイント低下の49.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

経営環境には依然として不透明さが残るため、現時点におきましては、2024年3月期通期の連結業績予想について、2023年11月7日公表時から変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,329	7,869
受取手形及び売掛金	17,197	17,476
商品及び製品	9,158	10,507
仕掛品	3,096	3,592
原材料及び貯蔵品	5,503	5,690
その他	1,008	805
貸倒引当金	△30	△28
流動資産合計	42,263	45,912
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,219	9,947
機械装置及び運搬具（純額）	8,756	9,177
その他（純額）	8,032	8,496
有形固定資産合計	26,008	27,622
無形固定資産		
のれん	119	319
その他	728	627
無形固定資産合計	847	947
投資その他の資産		
投資その他の資産	5,372	5,864
貸倒引当金	△84	△91
投資その他の資産合計	5,287	5,772
固定資産合計	32,144	34,342
資産合計	74,407	80,255

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,699	8,464
短期借入金	4,002	4,002
1年内返済予定の長期借入金	3,916	6,265
未払法人税等	141	224
賞与引当金	1,111	648
その他	4,566	4,871
流動負債合計	22,437	24,477
固定負債		
長期借入金	11,599	13,338
役員退職慰労引当金	151	166
退職給付に係る負債	500	524
資産除去債務	189	306
その他	828	1,426
固定負債合計	13,270	15,763
負債合計	35,707	40,240
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,411	7,411
資本剰余金	10,351	10,351
利益剰余金	17,514	17,145
自己株式	△219	△194
株主資本合計	35,057	34,714
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	362	626
為替換算調整勘定	3,110	4,501
その他の包括利益累計額合計	3,473	5,127
非支配株主持分	169	172
純資産合計	38,700	40,014
負債純資産合計	74,407	80,255

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)
売上高	46,918	48,035
売上原価	36,121	37,297
売上総利益	10,796	10,738
販売費及び一般管理費	10,325	10,661
営業利益	471	77
営業外収益		
受取利息	9	9
受取配当金	47	47
持分法による投資利益	—	148
受取手数料	40	54
補助金収入	26	148
その他	62	78
営業外収益合計	186	486
営業外費用		
支払利息	119	153
持分法による投資損失	94	—
為替差損	12	124
その他	11	22
営業外費用合計	238	300
経常利益	420	263
特別利益		
固定資産売却益	7	2
投資有価証券売却益	57	—
特別利益合計	65	2
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産廃棄損	18	6
特別損失合計	19	6
税金等調整前四半期純利益	466	258
法人税、住民税及び事業税	229	271
法人税等調整額	123	△57
法人税等合計	353	213
四半期純利益	112	45
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△18	△9
親会社株主に帰属する四半期純利益	131	54

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	112	45
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	23	263
為替換算調整勘定	1,648	1,390
その他の包括利益合計	1,671	1,654
四半期包括利益	1,784	1,699
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,798	1,697
非支配株主に係る四半期包括利益	△13	2

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当第3四半期連結会計期間において、当社の連結子会社であるジェイ・エム・エス・シンガポールPTE. LTD. がジェイ・エム・エス医療科技(張家港)有限公司の出資持分を取得したため、同社を連結の範囲に含めております。

なお、みなし取得日を2023年12月31日としており、ジェイ・エム・エス医療科技(張家港)有限公司の四半期会計期間の末日は12月31日であることから、当第3四半期連結累計期間においては貸借対照表のみを連結しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)2	合計
	日本	シンガ ポール (注)1	中国	フィリ ピン	ドイツ	計		
売上高								
外部顧客への売上高	29,886	8,586	1,608	11	2,813	42,906	4,012	46,918
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,036	8,224	1,344	2,707	3	15,317	—	15,317
計	32,923	16,810	2,953	2,718	2,817	58,223	4,012	62,236
セグメント利益又は損失(△)	137	222	94	32	136	623	42	665

(注) 1 「シンガポール」の区分は、生産体制を相互に補完し一体とした事業活動を行うインドネシアの現地法人を含んでおります。

2 「その他」の区分は、国内子会社及びアメリカ、韓国、タイの現地法人の事業活動を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	623
「その他」の区分の利益又は損失(△)	42
セグメント間取引消去	△121
持分法投資利益又は損失(△)	△94
その他の調整額	△29
四半期連結損益計算書の経常利益	420

II 当第3四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年12月31日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 2	合計
	日本	シンガ ポール (注) 1	中国	フィリ ピン	ドイツ	計		
売上高								
外部顧客への売上高	29,933	10,781	1,394	22	2,975	45,108	2,927	48,035
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,075	6,861	1,377	2,880	0	13,195	—	13,195
計	32,009	17,643	2,771	2,903	2,976	58,304	2,927	61,231
セグメント利益又は損失 (△)	228	△105	△51	△154	357	273	△2	271

(注) 1 「シンガポール」の区分は、生産体制を相互に補完し一体とした事業活動を行うインドネシアの現地法人を含んでおります。

2 「その他」の区分は、国内子会社及びアメリカ、韓国、タイの現地法人の事業活動を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	273
「その他」の区分の利益又は損失 (△)	△2
セグメント間取引消去	△78
持分法投資利益又は損失 (△)	148
その他の調整額	△77
四半期連結損益計算書の経常利益	263

(企業結合等関係)

取得による企業結合

1. 企業結合の概要

(1) 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称 旭化成医療科技(張家港)有限公司
事業の内容 輸血用白血球除去フィルターの開発・製造・販売

(2) 企業結合を行った主な理由

当社は、主力事業の一つである血液事業において、献血の際に血液を保存する血液バッグなど、採血から輸血までに必要となる製品の製造販売をグローバルに展開しております。日本をはじめ多くの国では、献血で採取された血液から作られる血液製剤の輸血時の副作用を予防するため、白血球除去フィルターを組み込んだ血液バッグが使用されており、今後もその需要は拡大する見込みです。

旭化成医療科技(張家港)有限公司では、旭化成メディカル株式会社の白血球除去フィルターに係る技術、ノウハウを活用して、主に中国国内向けに白血球除去フィルターを製造販売しておりました。

この度、当社の事業基盤を強化し需要拡大に機動的かつ効率的に対応すべく、ジェイ・エム・エス・シンガポールPTE. LTD. が旭化成メディカル株式会社より旭化成医療科技(張家港)有限公司の出資持分の全てを取得して当社の孫会社といたしました。これにより、これまで外部調達してきた白血球除去フィルターを内製化し、血液バッグとの一体的な事業運営を通じてシナジーを創出するとともに、白血球除去フィルターの供給という新たな役割を担うことで世界の血液関連市場における存在感を一層高め、事業収益の拡大を図ってまいります。

(3) 企業結合日

2023年11月28日(みなし取得日 2023年12月31日)

(4) 企業結合の法的形式

現金を対価とする出資持分取得

(5) 結合後企業の名称

ジェイ・エム・エス医療科技(張家港)有限公司

(6) 取得した議決権比率

100%

(7) 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社の連結子会社であるジェイ・エム・エス・シンガポールPTE. LTD. が現金を対価として出資持分を取得したことによるものです。

2. 四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間

みなし取得日を2023年12月31日として連結しているため、被取得企業の業績は当第3四半期連結累計期間の業績に含まれておりません。

3. 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	1,584百万円
取得原価		1,584百万円

4. 主要な取得関連費用の内容及び金額

アドバイザー費用 86百万円

5. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

(1) 発生したのれんの金額

218百万円

(2) 発生原因

今後の事業展開により期待される超過収益力であります。

(3) 償却方法及び償却期間

10年間にわたる均等償却